

報道記者発表資料 朝 来 市	提出日	令和5年12月4日
	問合せ先	担当部署：高年福祉課
		電話：079-672-6124
担当者	課長：大石 哲也	
	担当：谷口 朱里	

件名	認定調査業務のデジタル化 訪問調査モバイルの導入
----	---------------------------------

朝来市では、介護保険の認定調査業務の効率化を図るため、令和5年12月から訪問調査モバイル（タブレット端末）を導入し、訪問調査を実施します。

これまでは、調査内容を紙の調査票にまとめ作成していました。作成にあたり、調査基準は統一されているものの、調査結果の記述内容にバラツキが生じることや、調査時のメモを清書し調査票を完成させるため、作成に二重の手間がかかることが課題となっていました。

本システムでは、調査時に確認した内容をその場で入力することが可能なため、二重の手間を解消することができます。また、入力の際にタッチパネル形式の選択肢を選ぶことで、文章が自動作成されるため、表現を統一することができ、よりわかりやすく精度の高い調査票を作成することが可能となります。

調査票の精度の向上を図ることで、最終チェック後の手戻りを減らし、業務負荷を軽減することができ、さらには、それが審査の迅速化につながるが見込まれます。

1. 導入システム 訪問調査モバイル
2. 導入費用 6,215,000円（デジタル田園都市国家構想交付金を活用）
3. 導入効果 ①訪問調査員が実施する訪問調査開始から審査会資料の完成（印刷）までの時間短縮が可能となる。
 ⇒ 5.6時間 → 4.7時間（1件あたり）
 ②調査の効率化を図ることで、原則である認定申請受理から認定結果通知までの日数30日以内が達成可能となる。
 ⇒ 平均31.0日 → 平均30.0日
 ③訪問調査員の負担が軽減されるとともに、訪問調査員を管理する担当職員の時間外勤務時間を減らすことができる。
 ⇒ 年間およそ△30時間
 ④調査に持参する前回資料を印刷する必要がなくなることから、用紙代及び印刷関連費用等のコスト削減に繋がる。
 ⇒ 年間およそ△184千円
4. 問い合わせ先 朝来市健康福祉部高年福祉課 電話 079-672-6124

<参考> 認定件数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,800件	2,029件	1,474件	1,886件	1,929件